

広報ほんべつ

# 本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

Nov 2012.11  
No.1009



表紙 本別中学校強歩大会

**土砂災害警戒区域等が  
指定されました**

# 土砂災害 警戒区域等 指定されました

土砂災害防止対策の推進に関する法律（以下…土砂災害防止法）に基づき、今年9月28日に、北海道から町内山手町山沿いの急傾斜地や沢の計14か所が、土砂災害警戒区域等の指定を受けました。

いざというときのために、指定された危険か所をご確認ください。

## 土砂災害警戒区域等



| No. | 指定箇所   | 災害の種類   |
|-----|--------|---------|
| ①   | 錦川     | 土石流     |
| ②   | 山手町沢川  | 土石流     |
| ③   | 法華寺の沢川 | 土石流     |
| ④   | 本別駅裏沢川 | 土石流     |
| ⑤   | 朝日町沢川  | 土石流     |
| ⑥   | パンケ向陽川 | 土石流     |
| ⑦   | パンケ向陽川 | 土石流     |
| ⑧   | 柏木川    | 土石流     |
| ⑨   | 山手町 1  | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑩   | 山手町 2  | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑪   | 山手町 3  | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑫   | 朝日町 1  | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑬   | 朝日町 2  | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑭   | 東町 1   | 急傾斜地の崩壊 |

## 土砂災害への 備えと心構え

大雨や台風による土砂災害は、毎年全国各地で発生しており、私たちの暮らしと生命を脅かす存在になっています。このような災害から人命や財産を守るため、平成13年に土砂災害防止法が制定されました。

本別町ではこれまで、命にかかわるような大きな土砂崩れ等は発生していませんが、近年の異常気象（集中豪雨など）を考えると、これら区域内を中心にいずれ大きな土砂災害が発生する可能性は否定できません。

土砂災害から生命と財産を守るためには、皆さん一人ひとりの目から備えと心構えが必要で

## 土砂災害発生の 恐れがある場合は

テレビやラジオ、インターネットなどで、気象に関する注意報や警報等の積極的な情報収集に努めてください。また、山際の急傾斜地や沢には近づかないように注意してください。万が一、土砂災害発生の恐れがある場合は、町から安全のために早めの避難を促す「避難勧告」が出されるほか、人的被害の危険性が高まった場合には「避難指示」が発令されます。勧告や指示が出された場合は、慌てず指示に従って避難してください。

また、天候や道路状況が悪条件下での移動が予想されますので、状況に応じて自らの身の安全を第一に行動してください。

## 防災体制の強化

町では、これら土砂災害の恐れがある区域について、地域防災計画や防災マニュアルなど、大雨時の警戒や気象情報、避難準備情報、避難勧告など、警戒避難体制に関する事項について定めるなど、今後も継続して防災体制の強化を図っていきます。

また、町内の土砂災害警戒区域等や避難施設を明示した防災方イドマップも作成中であり、年度内には皆さんにお届けしたいと考えています。

※今回掲載した地図は、指定された区域をおおまかに表したものです。正確な区域図をご覧になりたい人はお問い合わせください。

## 土砂災害警戒区域等とは

土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生じる恐れのある区域です。そのため、北海道では、人的被害を最大限回避するため、道内市町村の土砂災害が発生する恐れのある区域を指定、公表し、警戒を呼び掛けています。本別町が指定を受けたのは、人の生活する市街地に危険か所が集中していることが大きな理由の一つとなっています。

### 対策を行うべき土砂災害危険か所

全国：約21万か所  
全道：約1万2000か所  
整備率：全国2割程度  
          （全道1割程度）

住民課  
環境生活担当  
問合番号  
011-22-81-28

平成24年度

町文化賞に細岡幸男さん  
町スポーツ賞に鈴木清志さん

スポーツ奨励賞に1個人・2団体

今年度の文化賞・スポーツ賞・スポーツ奨励賞が、10月22日の町教育委員会にて決定しました。受賞者は次の通りです。

文化賞

細岡幸男さん  
(美里別西上)



昭和20年7月15日に本別空襲を体験され、平成17年の教育委員会主催「わが町の七月十五日展」で初めて、実兄を目の前で失った筆舌に尽くしがたい体験を語り、実体験に基づくメッセージは、その悲しさ、平和の尊さ、恒久平和への願いを聞くものに心に強く訴えた。

以来、現在に至るまで、本別史上、重大な出来事であり、多くの犠牲者を出したこの悲劇を二度と繰り返しては

ならないとの思いから、研究者等からの取材やパネル、映像資料等作成に積極的に協力され、幅広く後世に伝えようと精力的に活動を展開されている。

戦後67年を経過した今、児童生徒をはじめ戦争を知らない世代への本別空襲の語り部として、献身的に続けられるものであり、本町の文化振興に寄与した功績は誠に顕著である。

スポーツ賞

鈴木清志さん  
(向陽町)



昭和47年に本別剣道連盟に加入し、昭和60年から平成19年まで同連盟の理事長として会の運営にあたり、平成20年から会長を務め、さらに、平成22年には十勝管内剣道連盟連絡協議会副会長に就任し、現在に至る。

この間、自らの精進も怠ることなく、居合道・杖道では北海道代表として全国大会に出場するとともに、平成23年には北海道初となる剣道・居合道・杖道の全てで七段を取得する。

また、剣道少年団の代表も務め、剣道を通じた青少年の健全育成と地域社会における剣道の普及発展に情熱を注がれるなど、本町のスポーツの進展に寄与された功績は誠に顕著である。

スポーツ奨励賞

個人

鈴木絢也さん  
(上本別)

平成24年度北海道高等学校弓道選抜大会十勝支部大会 男子個人 優勝

団体

北海道本別高等学校弓道部  
(顧問：中川望都子)

平成24年度第47回北海道高等学校弓道競技選手権大会十勝支部大会 準優勝

平成24年度北海道高等学校弓道選抜大会十勝支部大会 優勝

団体戦女子 優勝  
団体戦男子 優勝  
団体戦女子 優勝

家庭婦人バレーボール本別クラブ

(監督：佐藤幸子)

第43回全国ママさんバレーボール大会北海道予選会 十勝地区予選会 優勝

【出場者】

主将：塚林智子  
選手：金子美由紀・吉川亜子・倉崎真知子・西谷恵・鈴木美貴・藤田直美・佐藤幸子・柏崎光子・笹森留美子・泉野範恵・柳澤真佐美・岩崎佑美

授賞式は11月3日(文化の日)  
午前10時から 中央公民館  
大ホールで行われます



## 本別町音楽祭

第41回本別町音楽祭（町文化協会、中央公民館主催）が9月22日、中央公民館で開催されました。出演した2個人6団体が、太鼓や吹奏楽、ギター演奏など日ごろの練習成果を披露。会場を訪れた約250人の来場者は、迫力あるパフォーマンスや美しい音色に大きな拍手を送りました。



## 秋風を感じて

子どもサイクリングの集い（本別町地域子ども会育成連絡協議会主催）が9月22日に開催され、参加した町内の小学1年生から中学3年生とその保護者約30人が、中央公民館から美里別地区公民館までの往復約30kmを自転車で快走しました。参加者らは、秋風を感じながら思い思いのペースでペダルをこぎ、昼食は美里別地区公民館で焼肉を食べるなど、楽しい1日を過ごしました。



## 一人ひとりがアーティスト

ふるさと絵本づくり講座が9月29日、図書館で開催されました。テーマは「すてきなほんべつ」。参加した町内の小学生12人は、図書館周辺にある身近な風景や植物などの写真を撮影した後、その写真を使って絵本製作に取り組みました。参加者らは、絵本にそれぞれの感性でタイトルや写真の説明を加え、一人ひとりがアーティスト気分を味わうとともに、出来上がった世界に一つの絵本を手にし、満足した表情を浮かべていました。



## パークゴルフで熱戦

帯広信用金庫本別支店（杉村敦善支店長）による第21回信金杯パークゴルフ大会が9月23日、太陽の丘パークゴルフ場で開催されました。この大会は、信金と町民の交流を目的に毎年実施されており、同支店職員を含む53人は秋晴れの下、さわやかな汗を流しながら4コース36ホールで熱戦を繰り広げました。結果は次の通り。

<男性>

- 1位=佐々木捷男さん  
2位=月井 正さん

<女性>

- 1位=小野田皓永さん  
2位=山田 矩子さん



秋は芸術、文化、スポーツの活動やイベントが盛んに開かれます。  
本別町でも、子どもから高齢者までたくさんの方が、日ごろの練習の成果を披露したり、学習の場に参加したりしています。  
ここでは、そんな頑張っている皆さんの姿を紹介します。  
あなたも、この秋から自分のために何か始めてみませんか。

art 術  
culture 化  
sports ツ



## 自分のペースで ゴールを目指す

第41回本別町高齢者運動会（町社会福祉協議会主催）が10月6日、町体育館で開催されました。町内10老人クラブから参加した約130人が、4つのチームに分かれ、「ジャンケンリレー」、「いくつ入るかな」など、7つの競技に挑戦。参加者らは、それぞれのペースでゴールを目指し、さわやかな汗を流しました。



## 楽しい自然の世界

子どもワークショップ「ミニ百年記念館」（帯広百年記念館運営連絡協議会、帯広百年記念館主催）が10月6日、図書館で開催されました。同記念館の学芸員3人を講師に迎え、参加した親子15人がエゾリスの観察や、植物と昆虫の標本を使ったパズルにチャレンジ。参加者らは、動物の暮らしや珍しい植物の話に熱心に耳を傾け、自然の仕組みについて楽しく学びました。このほか、一般向けの「博物館講座」も行われ、参加者18人が本別の植物や植物標本についての解説を聞くなど、身近な植物の世界を楽しみました。



## 全力プレーで 優勝を目指す

十勝毎日新聞社本別支局杯争奪第14回選抜少年野球本別大会（十勝毎日新聞社本別支局・本別野球少年団育成会主催）が9月30日、南・弥生の両球場で開催されました。大会には、5町から8チーム約160人が出場。ゲームはトーナメント方式で実施され、参加した選手らは、優勝目指し熱戦を繰り広げました。



## ゴルフで親睦

第15回本別町民ゴルフ大会（岡崎勉実行委員長）が9月30日、アリスト本別ゴルフ倶楽部で開催され、参加した77人の腕自慢がゴルフを楽しみながら、親睦を深めました。3番ホールでは、恒例の1打でグリーンに乗らなかった場合に募金をする、チャリティーホールも設けられ、集まった募金77,213円が、町スポーツ振興基金に寄付されました。成績は次の通り。

ベストグロス  
優勝=矢吹裕美キ 男性=鎌田國夫キ(73打)  
準優勝=柏崎浩キ 女性=荒木富士子キ(79打)  
第3位=荒木富士子キ シニア=水元博宣キ(82打)



## 3町身障分会会員が交流

身体障がい者福祉の向上を目的に、第34回十勝東北部身障分会交流会が10月19日、町体育館を主会場に開催され、本別・足寄・陸別の身障分会会員約80人が参加しました。午前、スポーツレクリエーション大会が実施され、ジャンケンや魚釣りのゲームなど、7種目で交流。午後は、会場をふれあい交流館に移し、懇親会を開きカラオケなどで親睦を深めました。



## 幅広い世代がスポーツに親しむ

体育の目を記念した「遊・遊ゲームランド」（本別町・本別町教育委員会主催）が10月8日、本別公園で開催されました。今年は、幅広い世代の人にスポーツに親しんでもらおうと、会場を昨年度までの町体育館から変更。メイン会場になったステージ前では、恒例の得点を競い合うストラックアウトやフリスビーなどのゲームが展開されたほか、新たに園内を使ったマラソン大会とウォーキングも加わるなど、盛りだくさんの内容となりました。会場を訪れた、幼児から高齢者までの約200人は、体力に合わせてスポーツに触れ合うとともに、健康づくりの大切さを再認識しました。



## 本中強歩

本別中学校（山口弘康校長、136人）恒例の強歩大会が、10月5日に実施されました。今年のコースは足寄町里美が丘フラワー園から本別中学校までの16.2km。歩き組と走り組に分かれてスタートした生徒らは、沿道の声援を受けながら、思い思いのペースでゴールを目指し、心地よい汗を流しました。



## 北海道バレーボール大会準優勝

9月22日、23日に江別市で開催されたななかもど杯第18回北海道小学生バレーボール大会で準優勝した本別中央ジャンプスポーツ少年団（谷藤有咲主将）の12人が10月3日、教育委員会を訪れ、中野博文教育長に大会結果を報告しました。中野教育長は、「準優勝おめでとう、よく頑張りました」と結果をたたえ、選手らは「準優勝できてうれしかった」、「この大会ではサーブが入らなかったのが、次の大会では確実に入りたい」などと準優勝の喜びと今後の目標を力強く語りました。



# 秋の交通安全運動



## 交通安全集会

町交通安全推進委員会（会長＝高橋正夫町長）による交通安全集会が9月28日、役場前駐車場で開かれました。町内事業所や自治会などから約300人が参加し、交通安全の意識を新たにしました。

「事故を起こさない」意識を持ち、事故のない楽しい毎日を通しましょう。

通勤、通学、レジャーなど様々な場面で使われる車。車は便利な反面、一歩間違えば交通事故という大きな悲劇を生みます。町内でも今年に入り、8件の交通事故が発生（10月23日現在）し、2人の尊い命が失われています。日没が早まることによる視界の悪化や農繁期による大型車の走行が増えるなど、交通事故が多発するこの時期に合わせ、悲惨な交通事故を一つでも減らそうと、町内の各団体が街頭啓発などの交通安全運動を展開しました。

## 本別町における過去5年間の交通事故の状況

| 年     | 人身事故数 | 死者・負傷者数 |    |     |
|-------|-------|---------|----|-----|
|       |       | 計       | 死者 | 負傷者 |
| 平成23年 | 10    | 14      | 1  | 13  |
| 平成22年 | 7     | 7       | 0  | 7   |
| 平成21年 | 10    | 13      | 0  | 13  |
| 平成20年 | 8     | 14      | 0  | 14  |
| 平成19年 | 10    | 12      | 1  | 11  |

## 交通出動式



本別警察署（野村泰則署長）が秋の全国交通安全運動初日の9月21日、同署前で交通出動式を実施しました。本別地区交通安全協会や本別町交通安全会などの5団体の代表が出席した出動式では、野村署長が、「1件の事故も発生させないよう、交通安全意識を高める活動をお願いします」とあいさつ。来賓あいさつに続き、交通課の対馬大介巡查部長が力強く交通事故防止を宣誓した後、赤色灯を点灯させた警察車両6台が出動しました。



## 人の波運動 9/28

交通安全集会後に実施された、本別町秋の交通安全街頭啓発「人の波運動」。約300人が、北1丁目から北4丁目の国道242号線沿道で、通過する車に交通安全を呼び掛けました。



## 交通安全タスキリレー 9/24

本別・足寄・陸別の三町交通安全協会主催による「交通安全タスキリレー」の出発式が、本別警察署前で実施されました。タスキは、北8丁目ふれあい公園で交通安全キャンペーンに使用した後、足寄町へ引き継がれました。



## 交通安全キャンペーン

本別ライオンズクラブ（藤田尚幸会長） 9/27

本別町交通安全協会（前田進会長）と柏木町交通安全推進部母の会（澤田京子会長） 9/24

# 国民年金

年金受給者のみなさんへ

『扶養親族等申告書』は期限までに提出しましょう

その127

老齢や退職を支給事由とする年金は、所得税の課税対象とされています（障害年金・遺族年金は課税されません）。課税対象となる受給者には、毎年11月上旬までに日本年金機構から扶養親族等申告書が送付されますので、12月1日の提出期限までに必ず提出してください。

この申告により、翌年中に受けられる年金にかかる所得税額が決まります。もし提出を忘れると各種控除が受けられず、所得税額が多くなる場合がありますので、ご注意ください。

なお、年金以外に収入のある人は確定申告が必要です。

平成25年分「扶養親族等申告書」が送付される人

| 年齢    | 年金額         |
|-------|-------------|
| 65歳未満 | 年金額が108万円以上 |
| 65歳以上 | 年金額が158万円以上 |

## こんなときは届け出を

- 年金を受給中に次のような変更があった場合は、届け出が必要となります。必要な書類などを確認の上、必ず届け出をしてください。
- 氏名を変更した
- 住所や年金の受け取り先を変更した
- 年金を受けている人が死亡した
- 2つ以上の年金を受ける権利ができた



詳しくは  
住民課戸籍年金担当へ  
0222-81-28

# 夢風事業

## ほんべつ学びの日の集い



「ほんべつ学びの日の集い」が「まちの中に四つの風を吹き渡らせよう！」をテーマに10月12日、中央公民館で開催されました。会場には、教育関係者や町民約150人が来場。一人ひとりが生涯学習の観点に立ち、子供たちと共に学びへの関心を高め、豊な心を育むまちづくりへの思いを新たにしました。

### 大人と子どもと一緒に学ぶまちづくり

啓発セレモニーでは、水谷令子教育委員長、高橋正夫町長のあいさつの後、図書館ボランティアぶつくる会員小泉優子さんの朗読に合わせ、来場者全員で「ほんべつ学びの日宣言」を朗唱。続いて、同会員の沼田久枝さんが、生涯学習によるまちづくりの下、大人と子どもと一緒に日々学ぶことを例えた「四つの風」を紹介しました。

実践事例発表では、『駒踊り道外派遣事業』、『勇足小学校と徳島県小松島市立立江小学校との交流』、『本別・南三陸ふるさと交流研修会』で道外へ派遣された町内小中高生18人が、それぞれ研修の様子などを写真を交えて堂々と発表しました。

続いて、物理学者の佐治晴夫氏と児童文学作家の矢崎節夫氏による「金子みすゞという宇宙」をテーマとした対談では、矢崎氏が佐治氏に質問を投げかける形で進められ、佐治氏は金子みすゞさんの詩について「みすゞさんの詩は国境を超えて人と人の心をつなぐことができる」と述べたほか、「人間はできないこと、知らないことが多く一人では生きられない。みんなで助け合って暮らせるといい」と来場者へ語り掛け、ほんべつ学びの日の集いを締めくくりました。



対談する矢崎節夫氏と佐治晴夫氏



会場では、子供たちがお茶とお菓子を振る舞い、来場者を出迎えました

# げんキッズランド



### 子どもが楽しめるイベント

本別町商工会青年部（佐藤隆史部長）による、子どもが楽しめるイベント「げんキッズランド」が9月22日、役場前駐車場を主会場に開催されました。

この取り組みは、佐藤部長が同青年部に子ども向けの事業がなかったことから発案したもので、イベント名は町のマスコットキャラクター「元気くん」と「元気な子ども」をかけたもの。

会場には、2基のふわふわランドや各種ゲームなどが用意されたほか、提供する飲食物も子ども向けに安価に設定する工夫がされました。

町体育館では、チャリティープロレスも実施され、子供たちがリング上でレスラーと触れ合う場面も設けられるなど、来場した多くの子供たちは、楽しい一日を過ごしました。



射的に挑戦



プロレスラーと格闘する子供たち

### 未来の子供たちへ

チャリティープロレス会場で、レスラーが観客から募った募金21,640

円が9月24日、役場を訪れた佐藤部長から、「未来の本別の子供たちに役立ててほしい」と高橋正夫町長に手渡されました。



# 『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』 に基づく健全化判断比率等を公表します

町のホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/> でもご覧いただけます

『地方公共団体の  
財政の健全化に関する法律』  
の規定により毎年度地方公共団体の  
決算状況を連結ベースで財政分析する、  
健全化判断比率等の算定および  
公表が義務付けられています。

## 地方公共団体の財政の 健全化に関する法律とは

これまでの自治体再建法制では、地方公共団体の普通会計において赤字額が標準財政規模の20%（都道府県は5%）を超えるときとなりレドカードが出て財政再建団体となり、イエロカードともいえる注意喚起の段階がありませんでした。また、特別会計や企業会計にいくらか累積赤字があっても財政再建団体とはなりません

この法律では、「早期健全化」と「財政再生」の二段階で財政悪化をチェックするとともに、特別会計や企業会計もあわせて連結決算により地方公共団体の財政状況をより明らかにしようとするものです。

○財政再生団体（レドカード）の前に、早期健全化団体（イエロカード）の段階が設けられました

○地方公共団体の本体に公営企業・一部事務組合・第三セクターなども加えて判断するようになりました

○単年度の現金収支に加えて、過去からの累積に基づく基準ができました（将来負担比率）  
○公営企業の経営に関して、経営の健全化を促す基準ができました（資金不足比率）



## 早期健全化団体になると

健全化判断比率指標のいずれかが早期健全化基準を上回ると、財政健全化計画の策定（議会の議決）、外部監査の要求が義務付けられ、計画の実施状況を毎年度議会に公表し、早期健全化が著しく困難と認められるときは知事から必要な勧告が行われます。  
（平成20年度決算から適用）

## 財政再生団体になると

健全化判断比率指標のいずれかが財政再生基準を上回ると、財政再生計画の策定（議会の議決）、外部監査要求の義務付け、計画の実施状況の報告、公表に加え、財政再生計画を総務大臣に協議し、同意を求めなくてはなりません（※1）。また、財政運営が計画に適合しないと認められる場合等において、予算の変更等が勧告されます。  
（平成20年度決算から適用）

※1 同意がなければ、災害復旧事業費等を除き地方債の起債が制限されます

## 経営健全化基準について

早期健全化基準に相当するもので、各公営企業会計の資金不足比率が経営健全化基準を上回れば経営健全化計画の策定が義務付けられます。  
（平成20年度決算から適用）

## 健全化比率の 一般家庭でのイメージ

私たちの1年間の家計に例えると、日々の生活における収入と支出の状況や、現在の借入金と貯金のバランスを比率化したイメージとなります。

例えば、二世帯住宅で暮らすAさん夫婦世帯（一般会計、息子さん夫婦世帯（企業会計）を本別町に例えた場合、

◆実質赤字比率  
Aさん夫婦世帯の1年間の収入と支出の結果、赤字だった場合、その赤字額が家計規模に対してどの位の割合だったのかを表します。

◆連結実質赤字比率  
Aさん夫婦世帯、息子さん夫婦世帯の1年間の収入と支出の結果、赤字だった場合、その赤字額がAさん夫婦世帯の家計の規模に対してどの位の割合だったのかを表します。

◆実質公債費比率  
家族全員の1年間の住宅取得や自動車購入などの借入金返済額のうち、Aさん夫婦世帯が負担した返済額が、Aさん夫婦世帯の家計規模に対してどの位の割合だったのかを表します。

◆将来負担比率  
家族全員の住宅取得や自動車購入などの借入金残高など、Aさん夫婦世帯が将来負担を予定している費用から貯金を差引いた額が、Aさん夫婦世帯の家計規模に対してどの位の割合だったのかを表します。



## 平成23年度決算に基づく本別町の 健全化判断比率および資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第3条第1項および第22条第1項の規定により、本別町における平成23年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率について公表します。

### 1 健全化判断比率

平成23年度本別町各会計の決算に基づき健全化判断比率を算定したところ、下表のとおり、いずれの指標についても早期健全化基準、財政再生基準を下回りました。

| 指 標      | 本 別 町  |        | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|----------|--------|--------|---------|--------|
|          | 平成23年度 | 平成22年度 |         |        |
| 実質赤字比率   | - %    | - %    | 15.0%   | 20.0%  |
| 連結実質赤字比率 | - %    | - %    | 20.0%   | 30.0%  |
| 実質公債費比率  | 12.0%  | 13.3%  | 25.0%   | 35.0%  |
| 将来負担比率   | 36.8%  | 50.0%  | 350.0%  |        |

※実質赤字比率または連結実質赤字比率は、それぞれ赤字額がないため「-」で表示しています

### 2 資金不足比率

各公営企業会計における資金不足比率については、平成23年度決算において資金不足を生じた公営企業がないため、該当ありません。

| 会 計 の 名 称    | 本 別 町  |        | 経営健全化基準 |
|--------------|--------|--------|---------|
|              | 平成23年度 | 平成22年度 |         |
| 水道事業会計       | - %    | - %    | 20.0%   |
| 国民健康保険病院事業会計 | - %    | - %    |         |
| 簡易水道特別会計     | - %    | - %    |         |
| 公共下水道特別会計    | - %    | - %    |         |

※資金不足比率は、資金不足額がないため、「-」で表示しています。

○健全化判断比率および資金不足比率については、監査委員の審査に付した後、その意見を付して、9月定例町議会に報告いたしました。



各学校の手作りページ

# HELLO 本別中央小学校

本別中央小学校は、本年度ひと味違う特色ある活動をしています。

新聞等でも紹介されたものの中から、より特色のある2つの活動をご紹介します。

## 医療体験学習

8月24日に高学年89人が体験した、地域医療講演会青少年育成事業「夢を育てよう」は、全道で初の試みだそうです。北海道医師会会長の長瀬清先生の授業を受けました。DVDも交えて、普段あまり意識しないであろう寿命の話や心臓移植の話、親がいかに子どものことを思っているかを話してくださいました。授業のあと子供たちは実際の医療体験をしました。人形での心臓マッサージを行ったり、手術衣を着てみたり、内視鏡を動かしてみたり等、貴重な体験ができました。時間が来ても、体験コーナーの場所をなかなか離れない子供たちの姿が印象的でした。この様子は夕方のニュースや新聞でも紹介されました。これを機会に地域の医療に関わってみたいと思う子が増えてくれると嬉しいですね。



長瀬先生の授業



医療体験



劇団の皆さんの表現



表現する子供たち

## コミュニケーション教育

本別中央小学校では、中・高学年が中心になりますが、「コミュニケーション力」育成のためのプログラムに取り組んでいます。東京の劇作家・演出家・大学講師でもある西田先生と東京の演劇のプロの方々の出前授業です(文部科学省文化庁指定事業)。

実際の授業で子供たちは、両者の関係性、言葉を使わない「コミュニケーション」等々を体験しました。クラスに5人ほどの若い舞台俳優さん達が入り、様々なレッスンを通し、子供たちの内面にあるコミュニケーション力のつぼみを育て、花開かせつつあります。低学年に対しても群読を披露していただき、声を出しての表現の楽しさを教えていただきました。出前授業は、6月、7月、9月、10月、12月、1月と予定されています。学習発表会の劇の助言もしていただきました。

# シリーズ 支えよう公共交通

Part 10

決して無くせない。鉄道から陸路へ。地方における幹線交通は鉄道からバスへと転換されてきました。現在、全国各地で地域における公共交通のあり方が見直されています。本町にとっても例外なく、地域公共交通は重要な局面を迎えています。

平成18年4月20日、ふるさと銀河線の廃止により、明治43年の網走本線開通からおよそ一世紀にわたり地域とともにあった鉄道の歴史は、静かに幕を下ろし、町民の足はバスへと引き継がれました。道路網の整備や車社会の発達など、時代の変化に伴い、地方の多くの自治体では、バス輸送人員の減少により、路線バスなどの地域公共交通にかかる財政負担が増加しています。公共交通は、高齢者の通学や高齢者の通院など、交通弱者の足として欠かすことはできません。今後、高齢社会を迎え、そ

の役割はさらに重要となつていきます。これまで9回にわたり本町における公共交通の現状や課題、そして課題を解決する方向を示す目標などについて紹介してきました。今後、その課題を解決するために、継続して町民・行政・交通事業者がともに助け合い連携し、安心できる暮らしを支える公共交通を維持・確保するさまざまな取り組みを進めていかなければなりません。

※このシリーズは今号が最終回です

### 本別町の公共交通の歴史

- 明治43年 網走本線(池田～陸別)開通
- 昭和36年 網走本線が池北線に改称
- 昭和48年 へき地患者輸送バス運行
- 昭和50年 町有バス運行
- 平成元年 ふるさと銀河線開業
- 平成12年 太陽の丘循環バス運行
- 平成18年 ふるさと銀河線廃止
- ふるさと銀河線代替バス(帯広陸別線)運行
- 平成21年 本別・浦幌生活維持路線運行
- 平成23年 十勝バス留真線廃止
- 新本別・浦幌生活維持路線運行

※○印は幹線系統、●印は町内系統

### 問い合わせ

企画振興課  
企画・生涯学習担当  
☎22-8121



## 公園の利便性と安全を確保

9 27・29

9月27日に、シンレキ（高荷三千雄社長）の職員2人が本別公園敷地内の交通公園駐車場で駐車枠のライン引きを、9月29日には、オピショク（杉田俊幸社長）の職員7人が本別公園内の枯れ枝や、落下の恐れがある危険な枝の剪定をボランティアで行い、公園利用者の利便性と安全を確保しました。



シンレキ



オピショク

## 自分を見つめ直してリフレッシュ

9 28

家庭教育支援事業「なかよし」による、「育児ママのためのリフレッシュ講座」が9月28日、健康管理センターで開催されました。この講座は、カウンセラーの圓山嘉都美さんを講師に、聞くこと、話すことを通じて自分を見つめ直す時間として4回シリーズで開かれます。1回目に参加した8人のお母さんは、自己紹介をしながら子育てや家族への思いを語り合ったりストレッチで体をほぐすなど、和やかな雰囲気の中、リラックスした時間を過ごしました。



## 町内中学生意見発表大会 中学生らしい飾らない態度で

9 24

本別町学校教育振興会（会長＝山口弘康本別中学校校長）による第41回本別町中学生意見発表大会が9月24日、中央公民館で開催されました。参加した各中学校の代表8人は、中学生らしい飾らない態度で意見発表に臨み、「最期の力をもらって」をテーマに、亡くなった大好きな祖父からもらった勇気について、しっかりとした口調と豊かな表現力で発表した、土蔵海渡さん（本別中3年）が最優秀賞を受賞。11月10日に幕別町で開催される十勝大会に出場する土蔵さんは、「十勝大会でも最優秀賞を目指します」と、力強く抱負を語ってくれました。



土蔵さんの発表

## 町長がおじゃまします

9 27

町民との直接対話「町長がおじゃまします」が9月27日、銀河サロン（三井誠子委員長）開催日に合わせて、商工活性化センターで開催されました。高橋町長と約30人の参加者は、和やかな雰囲気の中、子育てや雇用、障がい者支援など、これからのまちづくりについて語り合いました。



## バランスのとれた食生活を

9 21

本別町食生活改善推進員協議会（小泉優子会長）による、よい食生活をすすめるための料理講習会が9月21日、健康管理センターで開催されました。参加した24人は普段不足しがちなカルシウムを多く含む食材を使った「彩りちらし」など3品を調理。完成後は全員でおいしくいただき、バランスのとれた食生活の大切さを学びました。



## 都会で出来ない貴重な経験

9月下旬～10月中旬

9月下旬から10月中旬にかけて大阪府の茨木西高校2年生82人、金岡高校2年生18人、茨木工科高校2年生63人、登美丘高校2年生85人と、兵庫県の神戸村野工業高校2年生58人が、修学旅行や野外体験学習で本別町を訪れ、民泊を体験しました。生徒らは、受け入れ式終了後、宿泊先となる各家庭に分散。本別産食材を味わったり、農作業をするなど、都会では出来ない貴重な経験をして過ごしました。



9/25 茨木西高校



9/28 金岡高校



10/5 神戸村野工業高校



10/10 茨木工科高校

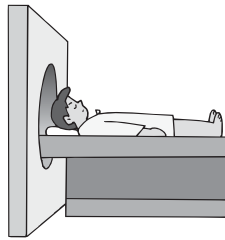


10/17 登美丘高校



# みんなの健康

339



当院では、9月末にCT装置を更新いたしました。以前の装置は、1回転で1スライスの断面画像しか撮影できませんでした。今回導入されたマルチスライスは、一度に複数枚の断面画像を撮影することが可能になりました。このことにより、特徴と

## CTコンピュータ断層撮影装置が更新されました

しては①撮影速度向上②撮影画像の微細化③撮影時間の大幅な短縮④立体画像化による診断が上げられます。特に、撮影時間の大幅な短縮により、従来は複数回息を止めて検査が行われていましたが、息を止める回数を一回に減らすことが可能となり、大幅な患者様の負担軽減が図られております。また、皆様の心配な被ばくにつきましては、最新の被ばく低減システムを導入し、成人で平均20%から34%の被ばく低減を行いながら検査が行えるようになりました。もう一つの特徴としては、大腸CT検査(CITC)も行えるようになりました。いままでの大腸内視鏡検査の他にCT装置でも検査が行えるようになりますので、選択肢が増えて検査による苦痛や違和感が少なく、短時間で進めることが期待できます。

本別町国民健康保険病院  
放射線室 主査 豊岡 重年

## 未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたくましさの姿が写っています。元気な笑顔が輝いて



向陽町 吉田 奏 (好)



北1丁目 山本 妃菜 (詳徳)



北4丁目 安田 峻太郎 (麻理香)



美里別東中 佐藤 莉名 (祥)



※写真は本人に了解を得た上で撮影しています。

# 銀河ホップアラウンド

## 足寄町

第33回

### 足寄町女性のつどい

11月25日(日)

午前10時～午後3時

足寄町民センター

内容 午前10時～開会式  
午前10時30分～

講座①「ご用心!暮らしの中の消費 者トラブル」

## 陸別町

### 銀河の森天文台 木星と秋の天体観望会

11月14日(水)～25日(日)

午後1時～午後9時30分

銀河の森天文台 (陸別町宇遠別)

美しい秋の星々を、是非観望ください。

入館料 大人3,000円

※午後5時以降の入館は、夜間料金(大人5,000円、小人3,000円)となります

※小学生未満は無料

お問い合わせ 銀河の森天文台 ☎2718100

午前11時20分～ 講座②「女性の人権問題について」  
午後1時～ 講演「転んだら、どう起るの?」  
講師 宇梶剛士氏 (俳優)



午後2時30分～閉会式 ※赤十字ハザード、特産品販売「トナリも併せて開催します」

参加料 無料

申込締切 11月6日(火)

その他 託児室を設置します。ご希望の方はお申し込みください

申込先・詳細 足寄町教育委員会生涯学習室 ☎2513188

※土・日・祝日は、午後7時30分から説明会を行います

入館料 大人3,000円

※午後5時以降の入館は、夜間料金(大人5,000円、小人3,000円)となります

※小学生未満は無料

お問い合わせ 銀河の森天文台 ☎2718100



- ★本別町産業振興基金指定 金100,000円
- ★本別町国民健康保険病院医療施設等整備基金指定 金200,000円  
…… 南1丁目  
有限会社河原商店 代表取締役 河原 國夫  
※河原商店創業60周年を記念して

- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
- ★資料館特別展示「わが町の七月十五日展」開催事業 金10,000円 …… 匿名
  - 金200,000円 …… 匿名
  - ★福祉でまちづくり推進事業 …… 金40,000円
  - ★日本の豆を生かした農産物加工施設整備事業 …… 金40,000円
  - ★自然との共存・環境保全推進事業 …… 金40,000円
  - ★資料館特別展示「わが町の七月十五日展」開催事業 …… 金40,000円
  - ★本のまち・夢プラン事業 …… 金40,000円
- 〈内訳〉

## ご寄付ありがとうございます

平成24年8月20日から10月9日

次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町老人ホーム指定  
ボックスティッシュ 180箱 …… 福島県 大澤智紀・このみ  
カボチャ 50個 …… 活込 三浦 武
- ★学校教育振興物品購入指定  
金21,640円 …… 北1丁目 本別町商工会青年部 部長 佐藤 隆史
- ★本別町スポーツ振興基金  
金77,213円 …… 本別町民ゴルフ大会実行委員会 委員長 岡崎 勉
- ★本別町ふるさと創生基金指定  
金100,000円 …… 弥生町 吉井 誠

# 本のある暮らし 140

## 戸籍のまど

### お誕生

9月後半から  
10月前半の  
届出分

- 廣尾 奈々<sup>なな</sup> 拓也<sup>たく</sup> 智美<sup>ちみ</sup> 9/14 東町
- 神野 紗帆<sup>さほ</sup> 謙子<sup>けん</sup> 陽子<sup>よう</sup> 9/16 南2丁目
- 本寺 優奈<sup>ゆうな</sup> 祐介<sup>すけ</sup> 香澄<sup>かすみ</sup> 9/19 美里別棟下1
- 青木 見流<sup>みりゅう</sup> 一弘<sup>かずひろ</sup> 美貴<sup>みき</sup> 9/23 南2丁目
- 宇佐倫太郎<sup>うさろんたろう</sup> 敏実<sup>みんじ</sup> 環<sup>たま</sup> 10/5 中央小学校

### おくやみ

上田 峰子<sup>みねこ</sup> 70歳 3/11 向陽町

#### ※お詫び

広報ほんべつ 4月号に掲載すべきところ、不手際により遅れたことを深くお詫びいたします。

- 苧坂 昊<sup>あき</sup> 85歳 9/15 柏木町
- 吉田 允<sup>のり</sup> 73歳 9/17 チェイトイ1
- 井上 晃通<sup>あきと</sup> 29歳 9/19 勇足西1
- 青木 一男<sup>かずひと</sup> 80歳 9/22 チェイトイ1
- 相澤 トミ<sup>とみ</sup> 94歳 9/24 北4丁目
- 門田 壽子<sup>しゅじ</sup> 92歳 9/25 仙美里元町
- 森 敏夫<sup>としと</sup> 88歳 9/26 チェイトイ2
- 門前 寛<sup>かみ</sup> 68歳 10/5 美里別棟下1
- 吉川 一弘<sup>かずひろ</sup> 59歳 10/7 勇足西1
- 内山 登<sup>のり</sup> 76歳 10/10 緑町

### わたしたちのまち

前月比

人口 8,110人(-22)

男 3,979人(-16)

女 4,131人(-6)

世帯数 3,840戸(-10)

〔9月末日住民基本台帳〕

# 出前授業開催

図書館では毎年「教科書に載っている先生の出前授業」を行っています。

今年は、10月12日に本別中央小学校と本別中学校で実施されました。

## 『星から生まれた私たち』

佐治晴夫先生



## 『みんなちがってみんないい』

矢崎節夫先生



本別中央小学校では町内の小学校高学年を対象に、児童文学者で金子みすゞ記念館館長の矢崎節夫先生が、「みんなちがってみんないい」のテーマで、金子みすゞの心と詩の世界を通じて、優しさや幸せ、いじめなどについて問い掛けました。

本別中学校では理論物理学者で理学博士の佐治晴夫先生が、町内の中学生を対象に、「星から生まれた私たち」と題して、宇宙から見た地球の美しさ、光から生まれた生物が人間となるまでの進化の過程や未来への示唆などを、理論的視点で丁寧に伝えました。



矢崎先生の授業



佐治先生の授業

秋の夜長を、図書館にあるお二人の本で楽しまれてはいかがでしょう？

お問い合わせ先  
**本別町図書館**  
 (愛称:ぶつくる一丸)  
 本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112